

# 協 児 民 あ て な

第 128 号

発行 四條畷市民生委員  
児童委員協議会

会長 小 林 由美子

編集 広 報 部 会

## まず、民生委員・児童委員に ご相談ください 関係機関におつなぎします

6/23~24 一泊管外研修岩国市民児協との交流会



6/23 平和記念公園



「民生委員・児童委員の日」街頭キャンペーン



5/12 楠公商店街・忍ヶ丘駅・田原地区に分かれてPRを行いました



5/7 憲法記念日知事表彰  
小林 由美子

新会長 あいさつ

四條畷市民生委員児童委員協議会

会長 小林 由美子

この度の当会会長逝去に伴い、会長を仰せつかりましたが、その重責を痛感いたしております。前任者同様格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

《お願い》  
在宅高齢者調査について

四條畷市民生委員児童委員協議会では、日々の見守り活動や災害時の安否確認などを迅速に行うため、3年一度、68歳以上の単身者73歳以上のみで構成された世帯に、お伺いしています。地区担当の民生委員が名札を付けて訪問しますので、趣旨をご理解頂きご協力をお願い申し上げます。

### 第 128 号の内容

表紙	街頭キャンペーン
2ページ	協議会活動
3ページ	地域活動
4ページ	表彰・部会活動



民生委員って何してる？



過去の広報誌を見る



民生委員に興味ある！

# 第76回大阪府民生委員児童委員大会



大人も子どもも  
元気に「おはよう!!」



7月5日(金) 大阪国際交流センターで開催されました。本市民児協からは、大阪府知事表彰を2名、子どもさわか賞を田原地区にある3校園による「あいさつ運動」の方が受賞されました。誰もが役割をもち、支えあい助けあいながら、笑顔で安心して暮らせる「地域共生社会」の実現をめざし大会宣言を読みあげ、満場一致で採択されました。第2部では俳優堀内正美氏による「阪神淡路大震災から30年―出来たこと―出来なかつたこと―」の記念講演があり、平時からの地域のつながりづくり、共助の大切さを楽しいお話の中より学びました。

# 子育てフェスティバル



8月21日(水) 四條畷市市民活動センターの体育館で開催されました。四條畷学園短期大学の千田耕太郎先生、森麻希子先生、プッペンテアター部の学生さんによる人形劇や歌遊び等で楽しませてくださいました。5カ所の遊びのコーナーでも楽しく遊んでくれました。親子合わせて82名の参加がありました。



# 一泊管外研修

6月24日(月) 山口県岩国市民児協の方と「民生委員活動における個々の問題点について」5つのテーマをもとに意見交換をしました。岩国市民児協は民生委員数約400名、23地区に分かれ活動されています。サロンへの協力、登下校の見守り、高齢者調査など共通点もあり様々な意見の中、岩国市では過去に豪雨災害による河川の氾濫や浸水の被害があり、日頃の活動の中で高齢者への避難場所や災害発生時の対応について声掛けの実施、防災メールの活用などに力をいれておられます。地域での声かけ見守りの重要性を再確認しました。交流会、広島平和記念資料館見学、錦帯橋など委員内の親睦もはかれ、実りある管外研修になりました。

兼松小夜子

# ヤングケアラー支援研修

7月17日(水) 定例会に、一般社団法人「こもれび」の水流添真(つるぞえまこと)氏を講師に迎えて研修を受けました。ヤングケアラーに関する認識についてと、こどもたちの気持ちと関わり方を学びました。困っていることを言えないこどもこそ支援が必要です。本人がどう思っている、どうしたいのかを尊重することが大切です。こどもたちの周りに、一人でも多くの信頼できる大人を増やすことが、支援に繋がると思いました。

川島由美子



## 訃報



山崎 譲 氏

平成22年12月1日就任  
令和元年12月1日、  
四條畷市民生委員児童委員協議会会長  
令和4年12月1日、  
大阪府民生委員児童委員協議会連合会  
副会長

令和6年6月11日、山崎譲会長がご逝去されました。  
民生委員児童委員として、責任ある公務を全うされ、その真摯な姿勢は、私たちの模範とするところでございます。心から哀悼の意を表します。

雁屋地区



6月6日(木)「キッズカフェ開店!」この日初めて参加された親子もいました。子どもたちは人見知りでお母さんの傍から離れず顔を見合わせては「べそをかいていました。子どもたちの月齢が近かったこともあり共感出来ることも多く自然と話題や笑い声も増え、大人たちの笑顔に合わせるように子どもたちの表情も少しずつ和らぎ、明るい雰囲気になりました。おもちゃで遊んだり音楽に合わせて体を揺らしたりと時間いっぱい楽しみました。お土産のおやつをもらい帰る時は笑顔でバイバイ、普段は少人数のサロンですが、時々参加して下さる「カリヤベビーセンター」のお友だちも一緒に、出会いと繋がりを大切にこれからも親子で楽しく参加出来る場となるよう活動していきたいと思えます。 高濱路子

中野新町地区

子育てサロン「スマイルクラブ」は第3火曜日10時~12時公民館で、節分・七夕・ひな祭りなど季節の行事も取り入れ親子で楽しく遊び、友だちづくりができればと開催しています。5月は高齢者サロン「わかば会」とともに「京都市動物園」へ、大きなゾウやキリンにおどろいたりフラミンゴの柵にしがみついたり離れなかつたりといろんな動物に興味シンシン、楽しい一日を過ごしました。7月は梅雨の晴れ間にプールあそび、大泣きしていた子どももしばらくすると笑顔いっぱい。地域のプールデビューになりました。地域で楽しく過ごせる居場所づくりのお手伝いができればとスタッフ一同がんばっています。

兼松小夜子



地域活動

岡山地地区

節分・ひな祭り、子どもの日等、季節毎に伝統的な行事を体験したり、季節の遊びを取り入れていきます。今年度からは新たに、高齢者の方とキッズができるだけ同じ部屋で活動をする事になりました。そのため、世代を越えて同じ取り組みができたかと考えています。子どもたちが家庭で読まれている本と古くから伝わるお話など本を好きに育ってほしいという思いで、できるだけ毎回、読み聞かせをおこなっています。目を輝かせて集中して聞いてくれた時は次の本を選ぶのに元気がでます。

崎野和子



緑風台地区

毎月第1土曜日13時~16時 緑風台住民であれば誰でも利用できる自治会館を開放しています。子どもたちから高齢者の方まで、卓球・カラオケ・折紙・手芸等、それぞれ思い思いに過ごしています。おやつを食べたり、おしゃべりしたり、毎回13~15人程が楽しく利用しています。7月は七夕かざりをつくって星のたんだぐりに願いを書いて笹につるしました。子どもたちに季節の行事を伝えたいと思います。



澤田文字



# おめでとうございます

憲法記念日知事表彰 小林 由美子 (中野本町・西中野)

(敬称略・順不同)

◆第76回大阪府民生委員児童委員大会知事表彰  
北井 隆嗣 (塚米地区) 吉田 知子 (四條畷小学校区)

◆子どもさわやか賞  
あいさつ運動  
四條畷市立田原中学校  
四條畷市立田原小学校  
田原台ひまわりこども園

◆社会福祉事務職員に対する府民児協連会長感謝状  
四條畷市社会福祉協議会 局長 辰巳 佳世

令和5年11月30日退任 鈴木 信之氏 永きに渡りご尽力頂きましてありがとうございました

## 生活福祉部会研修会

6月19日(水) 全国手話研修センターで、ろう者(聴覚障がい者)と健常者の二人で研修のスタート。ろう者とのコミュニケーションについての他、四條畷市内でのろう者の人数や現状を説明いただきました。中でも手話通訳の依頼が一番多いのは医療とのこと。筆談だけでは詳しい話ができないそうです。最後のミニ手話体験では隣どうしペアとなりお互いに手話で自己紹介をし合い、楽しく終えることができました。今秋開催の全国手話検定試験にチャレンジする委員もいるのではないのでしょうか?

厚海英行



## 児童福祉部会研修会

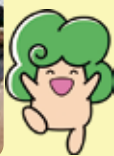
5月31日(金)、児童部会から、こども本の森中之島へ行きました。テレビで紹介され、行きたいとの願いが実現し楽しく参加させて頂きました。館長より、自ら建築し寄贈された安藤忠雄氏の功績、ここには寄付を含め約二万冊が収められ、こども目線で、本の並べ方にも様々な工夫が凝らされていること等々、丁寧に説明して頂きました。図書館ではなく、文化施設として登録されていると聞き、意外でした。声出しOK。安藤氏の思いが沢山詰まったこの施設へ多くの来館者を願うばかりです。

成見千津子

## 広報部会研修会

7月17日(水) 四條畷市総合政策部企画広報課さんより出前講座「広報誌はどうやって作ってるの?」の第2弾を広報部員全員で受講しました。前回は写真の撮り方で文章の伝わり方が違ってくることを教わり、今回は校正のポイント①固有名詞②事実関係③脱字・誤字④言葉の使い方の誤り⑤文章のつじつまが合わない、意味がわかりにくい箇所⑥差別的な偏見を助長する表現、読者が不快な思いをしないように。などについて学びました。原稿アップ後の校正作業において不十分な点が目立ち、再認識させられた気がしました。今後の広報活動に生かして行ければと感じました。

清水富雄



輪島市に派遣された小林氏

## 災害時活動部会研修会

5月15日(水) 定例会前に「能登半島地震被災地支援を通して」というテーマで四條畷市役所・生活福祉課小林義典氏による講演がありました。まず思うのは、日本全国何処でもいつでも、何が起きるか分からないと云う事である。講演の内容は現地に行かなければわからない事があると云う現実だ。困った事はテレビ、新聞等で報道され、ほぼ理解できる。特に印象に残ったのは、トイレ事情である。阪神震災時の野島断層の語り部の話でもトイレ事情は大変だったとの話。今後起こるであろう災害においては、生活物資も大事だが、まずトイレ、簡易トイレを、それも和式ではなく洋式を、と思う次第です。

治郎丸昭夫

なあ!! 知ってはる? 「新紙幣に交換します」詐欺に注意